本誌は、文部科学省による「教科書採択の公正確保について」に基づき、(一社)教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」にのっとって配布しております。

内容解説資料

国語教育相談室

小学校
no.
97

光村図書

特集

国語の妖精コッシーが解説！

なるほど、新しい『国語』教科書

―令和二年度版『国語』のご紹介

書写

書くって、楽しい。
書けるって、うれしい。

―令和二年度版『書写』のご紹介

CONTENTS

わたしとことば　ボケ ――――――――――――――――――――――――――――――――――パトリック・ハーラン

特集 02 国語の妖精コッシーが解説！
なるほど，新しい『国語』教科書
令和2年度版『国語』教科書のご紹介

書写 18 **書くって，楽しい。書けるって，うれしい。**
令和2年度版『書写』教科書のご紹介

デジタル教科書 24 デジタル教科書の新たな流れ

28 国語　平成31（令和元）年度用教科書　訂正箇所のお知らせ

わたしとことば

芸人 パトリック・ハーラン

ボケ

ボケ。これが僕の人生を変えた言葉だ。「惚け」や「暈け」、「呆け」と書いたり、「ピンぼけ」、「平和ボケ」、「時差ボケ」、「ボケ防止」などと使われたり、日本人の日常生活によくなじんでいるものだろう。しかし、アメリカ人はそうではない。ボケを直訳できる英単語は存在しないし、その概念自体もあまりない。

でも、想像もつかぬ展開で「ボケ」という未知の二文字が僕の肩書になった。

二十六歳で日本のお笑いに挑戦することにしたときに、相方となるマックンから「俺はツッコミをやるからお前はボケね」と決められた。両方初めて聞いた単語だったけど「お、いいよ」とわかったふりをした。その後、辞書で「ボケ」を引いてみたら「漫才において、ツッコミじゃない方」と書いてあったのを覚えている。全く役に立たない！

結局、ボケの意味を体で覚えた。漫才やコントをやっている中で「僕が非常識、非日常的な発言をすれば、マックンは直ちに怒って僕をひっぱたきながらその間違いを訂正する」という流れが見えてきた。なるほど！　これが「ボケとツッコミ」なのだ！と、ひらめいた瞬間も覚えている。

次は台本なしのフリートークでボケることに挑戦した。簡単に見えるかもしれないが、あれは職人技だ。僕もさまざまなパターンに挑戦して、試行錯誤で使えるものを捕まえた。時間はかかったが、やっとできるようになった。先週の火曜日に。

ボケ術とともに覚えたのはボケで笑いをとる快感。そして、その過程で気づいたのは、間違いや勘違い、失敗や失礼などはボケになるから、芸人にとってはありがたいものだということ。彼女にふられた。自転車で転んだ。せき込んで鼻から牛乳を出した。よっしゃ！　どれも笑いの原材料になる！

痛い、恥ずかしい、バカバカしい……大歓迎！　しかも、万が一うけなくても、なんと「滑り芸」というボケのパターンもあるから怖いものはない！　そんな心境で生きるようになったら、人生がとても気楽になった。全部「ボケ」のおかげだ。

1970年生まれ。アメリカ・コロラド州出身。ハーバード大学卒業後，来日。1997年，吉田眞とバックンマックンを結成。日米コンビならではのネタで人気を博し，その後，情報番組「ジャスト」（TBS系列），「英語でしゃべらナイト」（NHK）で一躍有名に。著書に，『バックンの「伝え方・話し方」の教科書 世界に通じる子を育てる』（大和書房），『世界と渡り合うためのひとり外交術』（毎日新聞出版）などがある。

特集

国語の妖精コッシーが解説！ なるほど、新しい『国語』教科書

監修　**奥水かおり**

漫画　**あべかよこ**

連載「なるほど国語指導」でおなじみの国語の妖精コッシーが令和二年度から使用開始となる新しい『国語』の教科書の内容をご紹介します。

こしみず
奥水かおり

広島県生まれ。元 玉川大学客員教授。23年の教員生活の後，港区教育委員会指導主事，東京都教育庁主任指導主事，小学校校長，玉川大学客員教授等を務める。光村図書小学校『国語』教科書の編集委員。

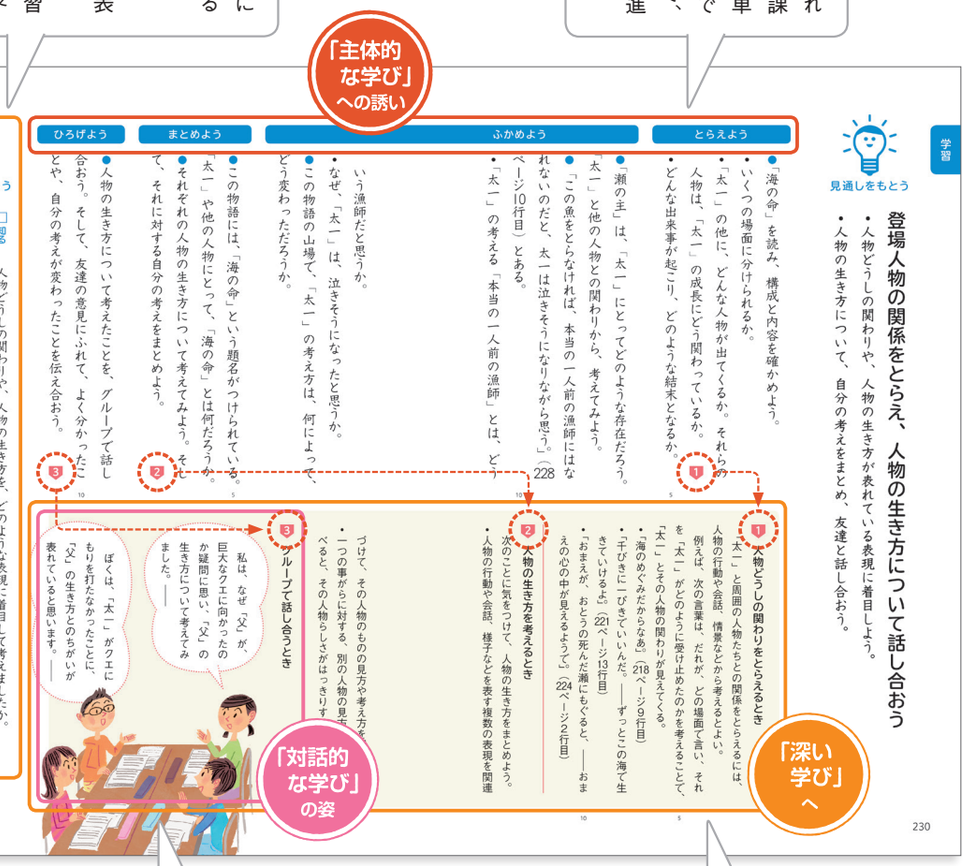
「主体的・対話的で深い学び」を実現

「読むこと」単元扉と学習ページ

作品・文章の導入と読みの着眼点を示すことで、学習の見通しと学びへの期待感をもたせます。

これまでの学習で身についた力を確認することができます。

▲6年 p217, 230-232



下段は、上段の課題に対応して、課題に取り組むうえでの観点や思考の整理の方法、対話的な学びの姿などを示しています。学習を進めていくことで、自然と「深い学び」を実現します。

どの場面で、どんな対話を盛り込むとよいのか、イラストと話例が示されています。「対話的な学び」のイメージが得られます。

学習と読書をつなげる場です。単元の学習と関連させながら、さまざまな角度から本に親しむ態度を育てます。子どもの「もっと学びたい」という意欲に応えます。

新しい評価の観点に沿った自己評価ができるようになっています。
□知る…知識・技能
□読む…思考・判断・表現
□つなぐ…主体的に学習に取り組む態度

学習指導要領に示された学習過程に沿って、課題を整理しています。単元の初めから終わりまで課題を一覧できるので、見通しをもって学習を進めることができます。

他教科や日常生活に活用する視点を示しています。子ども自身が身につけた力を意識することで、汎用的な力になります。また、他の学習にいかすことで、学びがいっそう深まります。

「主体的・対話的で深い学び」を実現

「話すこと・聞くこと」「書くこと」

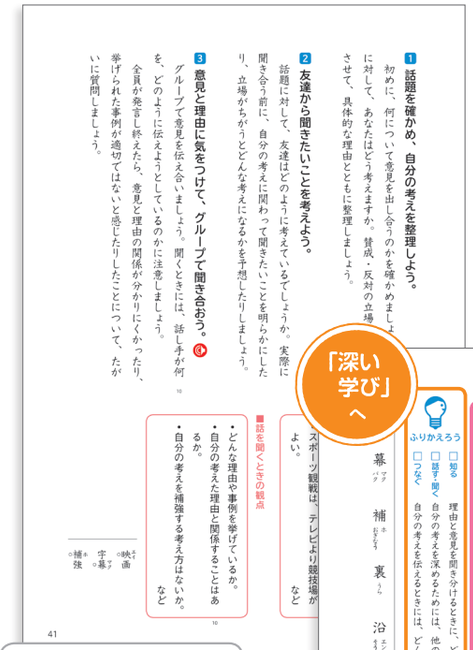
活動の折々に、対話の姿を盛り込みました。活動の最後だけではなく、途中段階で交流を行うことで、本質的な対話につなげていきます。

▲6年p40

「主体的な学び」への誘い

学習指導要領に示された学習過程をよりわかりやすく示しました。学習の重点がわかるので、主体的な学びを促します。また、指導事項がはっきりとわかるので、授業づくりに役立ちます。

▼6年p41



▲6年p43

ページの上段に活動指示をまとめ、下段に資料やメモの例など、活動に役立つ情報を整理しました。「何をするか」が一目でわかる紙面です。

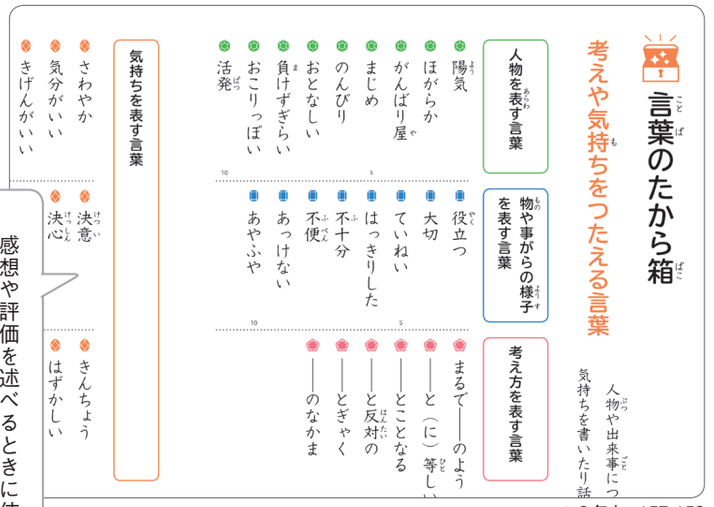
確かな「言葉」の力がつく

■言葉の宝箱

【考えや気持ちを伝える言葉】【学習に用いる言葉】で構成しています。

※二年生以上の各巻巻末に折り込みで設置。

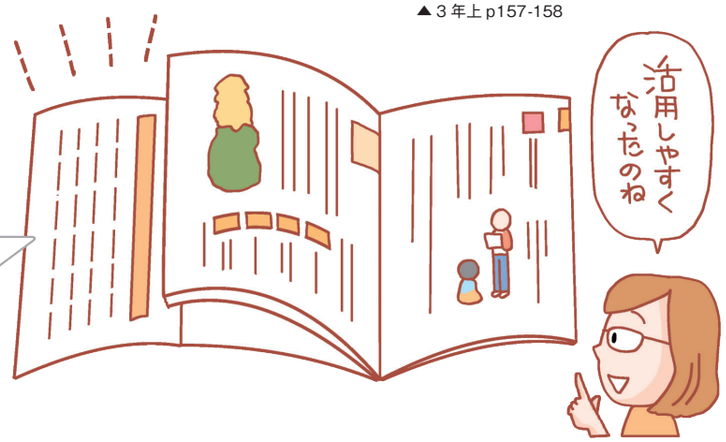
【考えや気持ちを伝える言葉】



▲３年上 p157-158

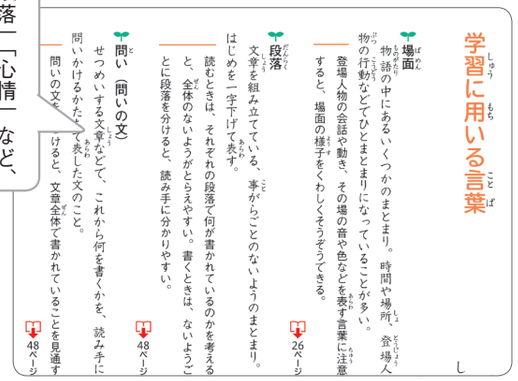
感想や評価を述べるときに使える言葉を四つのカテゴリで提示しています。語彙が増えると、表現が豊かになり、深く考えられるようになります。

「気持ち（心情）を表す言葉」は、折り込みを広げると、教材を開いたまま閲覧可能です。



【学習に用いる言葉】

「段落」「心情」など、国語科で学習する言葉をまとめています。これらの言葉を共有しておくと、授業の中で、「段落に分けてみよう」「心情の変化を考えよう」など、考える観点として使うことができ、学びが深まります。


学習に用いる言葉

- 場面　物語の中にあるいくつかのまとまり。時間や場所、登場人物の行動などでひとまとまりになっていることが多い。
  - 登場人物の会話や動き、その場の音や色などを表す言葉に注意すると、場面の様子をくわしくそうぞうできる。 26ページ
- 段落　文章を組み立てている、事がらごとのまとまり。はじめを一字下げて表す。
  - 読むときは、それぞれの段落で何が書かれているのかを考えると、全体のないようがとらえやすい。書くときは、ないようごとに段落を分けると、読み手に分かりやすい。 48ページ
- 問い（問いの文）　せつめいする文章などで、これから何を書くかを、読み手に問いかけるかたちで表した文のこと。
  - 問いの文に対して答えると、文章全体で書かれていることを見通すことができる。 48ページ

▲３年上 p159-160

知識だけで終わらない、言葉の学び

語彙や漢字、言葉のきまりは、知識として理解することにとどまらず、以降の学習や生活にいきて働かせることが大切です。「楽しく学び」「楽しく使う」という構成で、しっかり定着を図ります。

▲「漢字の広場４」５年 p160

▲「カンジーはかせの都道府県の旅１」４年上 p60-61

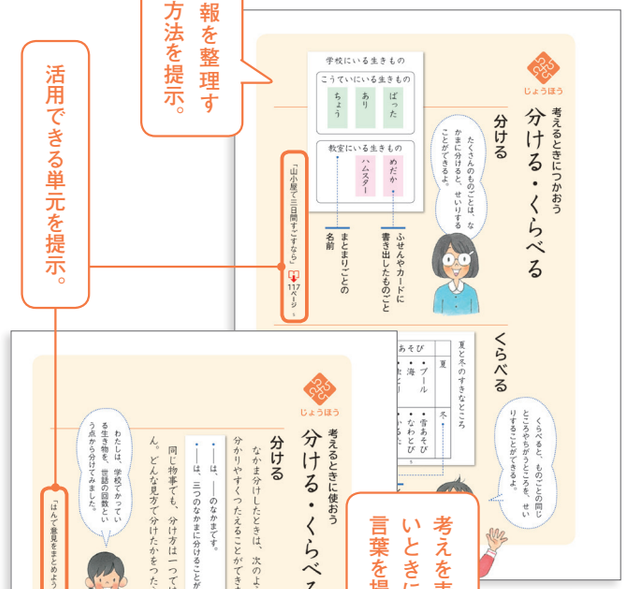
新設！「情報」教材

新学習指導要領では、「情報の扱い方に関する事項」が新設されました。新しい教科書では、「情報の扱い方」に特化した教材を、四つの観点で位置づけました。

❶ 考えるときに使おう

思考を表す表現・思考ツール

「比べる」「分ける」「広げる」など、考えるときの手がかりになる表現やツールを巻頭に示しました。参照しやすい位置にあるので、年間を通して、いつでも活用することができます。



▲３年上 p9

▲３年下 p9

❷ 関係をとらえよう

情報と情報との関係・論理

「順序」「全体と中心」「考えと例」などの情報と情報の関係を、一学期説明文を題材におさえます。情報どうしの関係についてしっかりと理解を深めることで、文章や話を正確に理解する力や、論理的に思考する力を育てます。

▲４年上 p50-51

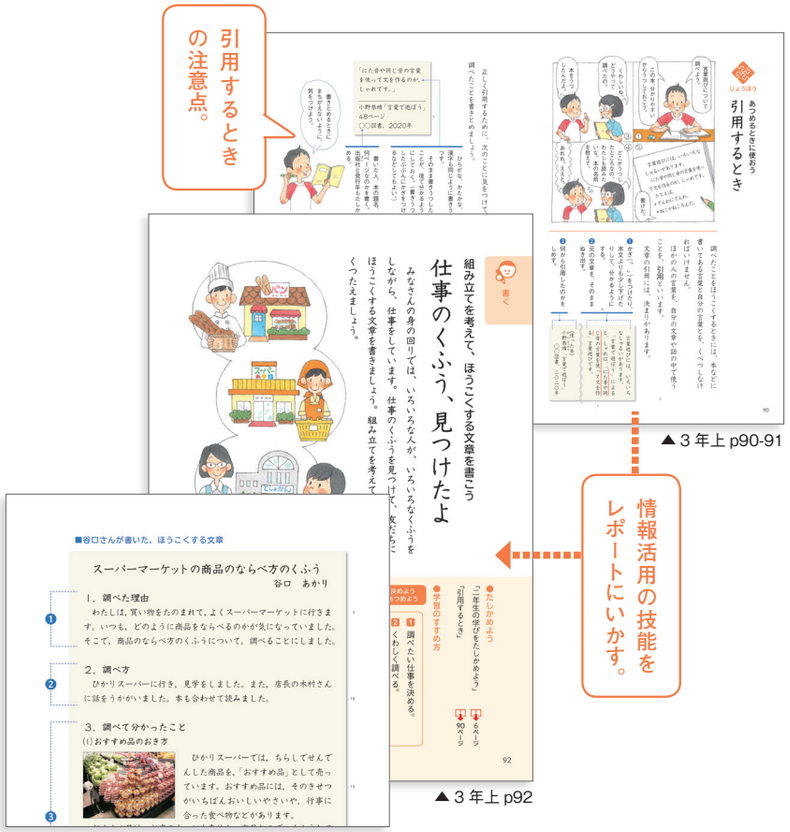
▲４年上 p59

情報と情報との関係に着目し、説明文を捉え直す。

❸ 集めるときに使おう

引用・要約・目的に応じた情報活用

「メモをとる」「引用する」など、情報収集の技能を養う教材です。直後の「書くこと」の単元でその力をいかせるつくりになっています。



▲３年上 p90-91

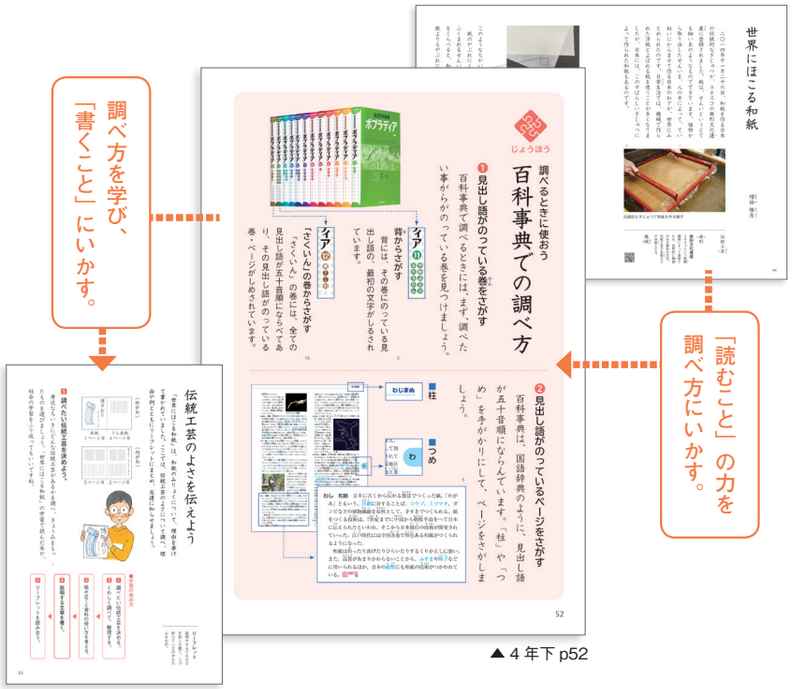
▲３年上 p92

▲３年上 p95

❹ 調べるときに使おう

調べ方・出典の示し方・著作権等

「百科事典で調べる」「統計資料を読む」など、さまざまな文章の読み解き方を、「読むこと」「書くこと」の複合単元の中で取り上げて扱い、その力を身につけます。



▼４年下 p44-45

▲４年下 p52

▲４年下 p53

注目！ 書きおろし新教材

「まいごのかぎ」（三年上）

斉藤 倫

学校からの帰り道、小学生のりいこは、こがね色のかぎを拾います。交番に届けようと歩いていると、通り沿いの桜の木の根元に、なぜか、かぎ穴のようなものが見えます。「まさか、ね」と思いながら、かぎをさし込んでみると……。

ユーモア溢れる不思議な出来事の数々が、子どもたちの心を捉えます。

「やなせたかし――アンパンマンの勇気」（五年）

梯 久美子

長年にわたり、多くの子どもたちから愛される「アンパンマン」。その生みの親である やなせたかしさんの伝記です。

本作品を通して、正義や命について考えるとともに、主体的に社会に関わろうとする姿勢を育みます。

「帰り道」（六年）

森 絵都

登場人物「律」の視点から書かれた物語「1」と、「周也」の視点から書かれた物語「2」。同じ出来事に対する、それぞれの捉え方や心情の違いが細やかに描かれた作品です。

作者は、『DIVE!!』『クラスメイツ』など、十代を主人公にした数々の印象深い作品で知られる森 絵都さんです。

「固有種が教えてくれること」（五年）

今泉忠明

筆者の今泉忠明さんは、二〇一八年「子どもの本総選挙」で一位に選ばれた『さんねんないきもの事典』（高橋書店）の監修者で知られる動物学者です。

特定の国や地域にしかいない「固有種」の動植物を通して、環境保全などについて考える教材です。

「メディアと人間社会」（六年）

池上 彰

わかりやすい ニュース解説で 知られる、ジャーナリスト の池上 彰さんが、メディアとの付き合い方をテーマに、子どもたちに問いかけます。これからの社会を生きていくうえで大切なことは何なのか、子どもたち一人一人が考えをもつことができる文章です。

筆者からのメッセージ

「メディアと人間社会」（六年）

池上 彰

メディアと付き合うために

いまや小学生もスマホを使いこなす時代です。私たち大人より、子どもたちのほうがアプリを達者に使うほどです。

しかし、人生経験の少ない子どもたちは、ネットの世界を飛び交う言説を、そのまま信じてしまいがちです。

「他人の言うことを安易に信じてはいけない」

そんなこと、純真な子どもたちには言いたくないのですが、思わぬ被害を受けてしまうこともある以上、「あふれる情報から自分を守る」方法を伝達していかなければなりません。それが「メディアリテラシー」です。

そのためには、まずは私たちの身の回りにどのような情報伝達手段があるかを気づかせるところから始めたいものです。文字の発明が、私たちの生活をいかに豊かにしたことか。

その一方、文字によって表現されるメッセージは、人の心をえぐる刃にもなります。まさに〝諸刃の剣〟なのです。

私たちは、これまで文字が書かれた書籍やラジオ、テレビなど、伝達のプロによる情報を受け取ってきました。

しかし、インターネットは、情報伝達のプロでなくても人々に情報を伝えることができます。プロとしての訓練を受けていないと、誤った情報や根拠のない情報なども発信しがちです。その結果、多くの人が混乱したり、傷ついたりすることが起きます。ネットで情報を発信することは、大きな責任を伴うのです。

ツイッターやインスタグラムで発信すると、誰が見るかわかりません。いわば渋谷のスクランブル交差点に立って、大声で叫ぶようなものなのです。

いえ、交差点で叫ぶのなら声が届く範囲は数十人でしょうが、ネットに載れば、世界数千万人にも届いてしまうのです。

それだけ多くの人に自分の思いを届けられれば、素晴らしいことでありますが、危ういことでもあります。

この教材をベースに、ラジオで伝達することの意味、テレビの優れた点と問題のある点、ネットの功罪など、それぞれのメディアの役割のプラスとマイナスを考えさせてもらえればと思います。

それは結局、先生であるあなたの人間的な成長につながると思います。

池上 彰（いけがみ あきら）
1950年，長野県生まれ。ジャーナリスト。73年，NHK入局。報道記者や番組キャスターなどを務め，2005年フリーに。『伝える力』（PHPビジネス新書），『速すぎるニュースをゆっくり解説します』（文春文庫）など著書多数。

▲6年p190

▲6年p192

池上さんが「メディアと人間社会」について語っている動画を見ることができます。

作者からのメッセージ

「帰り道」（六年）

「帰り道」の風景

帰り道は、学校に通う子どもたちの全員が例外なしに持っているものです。学校へ来たからには、帰らないわけにはいきません。誰もがそれぞれの経路をたどって家へ帰ります。そのそれぞれの道に、少しばかり色を添えることができたら……との思いが今回の短編「帰り道」の出発点でした。

私自身の子ども時代をふりかえると、帰り道は必ずしも楽しいものではありませんでした。基本的に「行く」よりも「帰る」ほうが面倒くさいものです。勉強疲れもあります。家に帰ったらあれもやらなきゃ、これもやらなきゃと考えて憂鬱になることも、学校での失敗を引きずって足が重くなることもありました。元気溌剌と帰り道を謳歌している子どもの姿はあまり見たことがありません。

しかし、だからこそ、作中のちょっとした出来事によって、その帰り道を照らすことができたら、と考えたのです。昨日までは何も起こらなかった帰り道――でも、今日は思いがけない何かが起こるかもしれない。そんな期待を胸に抱くことで、少しでも子どもたちの足どりが弾んでくれたら、と。

かくして帰り道という舞台が決まり、つぎに作中人物を考えました。まずは、心に重いものを抱えて道を行く律の姿が頭に浮かびました。なぜ暗い顔をしているのか。彼の問題を追っていくうちに、その原因を作った周也の姿も見えてきました。

律と周也。異なる二人の視点から、それぞれの「帰り道」を語らせる。この作法は最初から決めていたものです。歩んでいる道は一緒でも、律の目に映るものと周也の目に映るものはまるで違います。心の中も違います。物語を通じてその相違を感じとることは、「人は自分と同じことを考えていない」という事実を理屈ぬきに理解することに繋がるのではないかと思います。別々の人間なのだから違って当然。それをさびしがるよりも面白がろう。個々の相違は得てして否定的に捉えられがちですが、私は律と周也の多視点の語りから、読者の子どもたちがそれを肯定的に受けとめてくれたらと願っています。

律と周也が気まずくなった原因を「言葉」にまつわる齟齬としたのは、私自身、子ども時代はよく言葉に悩まされていたせいかもしれません。私は思っていることをなかなか口にできない子どもでした。学校の先生や友達に対してだけでなく、家族に対してもそうでした。どうせうまくしゃべれない、という自信のなさがまずありました。加えて、何もかも言葉にしなければならないのか、という疑問や抵抗の感情もありました。そのくせ、なんでもかんでも言葉にできる子たちを羨み、自分だけが損をしているような僻み根性をもてあましていたのです。

ですから、思いをなかなか言葉にできない律を理解するのは、私にとってさほど難しいことではありませんでした。律の対極にいる周也は手こずる恐れもありましたが、不思議とそうはなりませんでした。自分とは懸け離れた男の子を書くことで、逆に、しゃべらずにはいられない子どもの気持ちが鮮やかに私の中へ流れこんできたのです。

枚数に制限があったため、原稿では触れていませんが、周也のパートを書くにあたって、私は「なぜこの子はこんなにぺらぺらしゃべるのか」と考えました。生い立ち。家族構成。家庭内での役割。そうして周也に接近することで、絶えず言葉をふりまいている子にもその子なりの事情がある、とすとんと腑に落ちたのかもしれません。

子どものころ、言葉を上手に操る子たちをただ羨むのではなく、もっと相手の胸中を想像してみればよかったと今は思います。相手への理解が自分自身の心を軽くしてくれるのはよくあることです。

物語は私たちに多くのきっかけを与えてくれます。律と周也の「帰り道」が、読んでくれる子どもたちに新鮮な発見をもたらしてくれますように。

教科書に掲載している二次元コード。森さんが「帰り道」について語っている動画を見ることができます。

森 絵都（もり えと）
1968年，東京都生まれ。作家。90年『リズム』で講談社児童文学新人賞を受賞しデビュー，同作品で椋鳩十児童文学賞を受賞。『風に舞いあがるビニールシート』で第135回直木賞を受賞。『DIVE!!』『クラスメイツ』など，10代を主人公にした作品多数。

特別編

書くって、楽しい。書けるって、うれしい。

令和二年度版『書写』教科書のご紹介

山梨大学名誉教授　宮澤正明（みやざわまさあき）

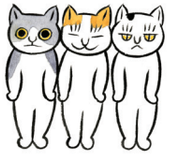
書くことの楽しさが実感できる、新しい『書写』教科書が完成しました。

代表編集委員の宮澤正明先生に、新しい教科書のおすすめポイントについて語っていただきます。

はじめに

新たな教育観による学習指導要領の改訂によって、書写教育のあり方や学習方法も変わることになりました。

社会における文字環境や情報の伝達手段が飛躍的に進化する一方で、手で文字を書くことの意義や、書き文字の価値が見直されています。子どもたちも「正しく整った文字を書くことができるようになりたい」と願っています。編集委員として、これらの期待に応えられる新しい書写の教科書を目ざしました。



1952年，静岡県生まれ。光村図書 小・中学校『書写』教科書の代表編集委員を務め，教材文字の執筆も担当。新学習指導要領改訂に関する，中央教育審議会 国語ワーキンググループ委員を歴任。著書に，『新・字形と筆順』（光村図書），『美しい毛筆の書きかた』『常用漢字 書きかた字典』（二玄社）など。

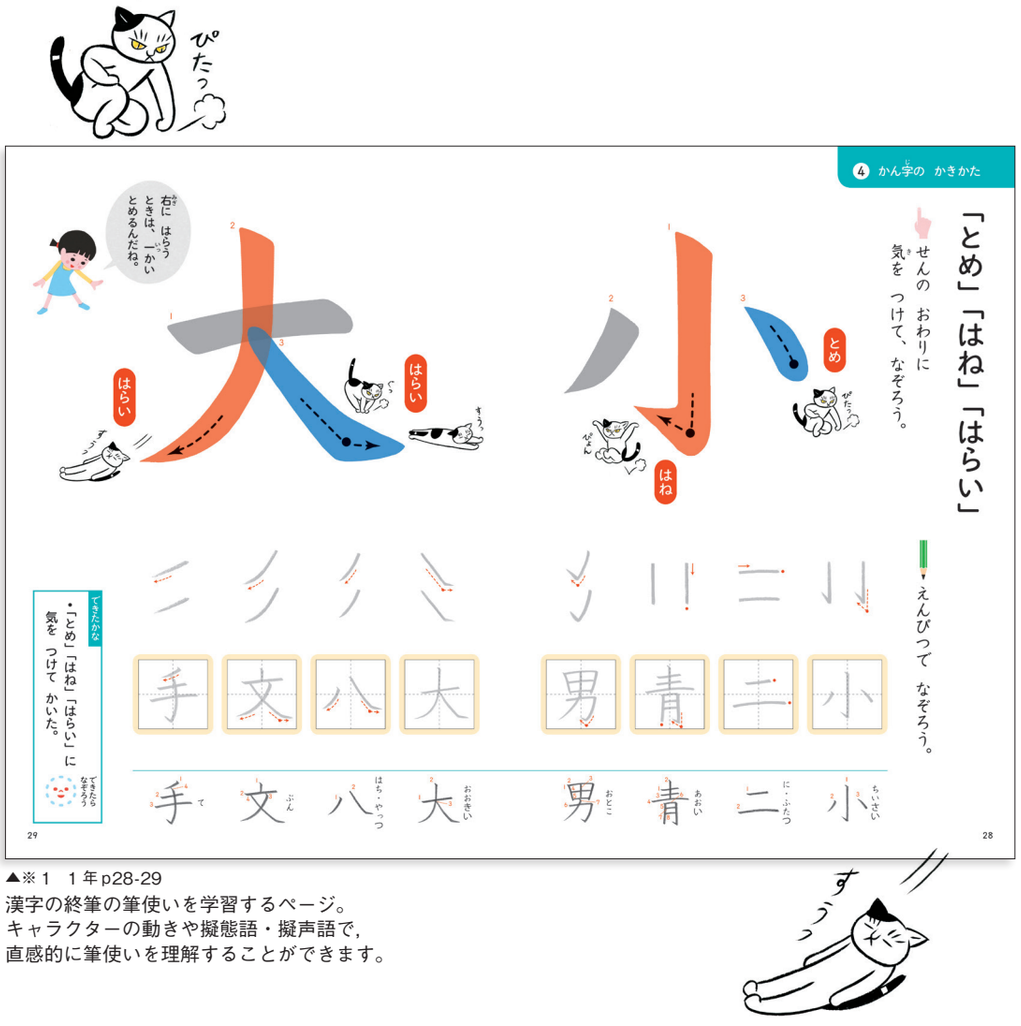
書く楽しさが感じられる学びを

新版の編集にあたっては、子どもたちの意欲を喚起する紙面や学習活動を位置づけるのはもちろんのこと、「何を学ぶのか」「何ができるようになったのか」が明確にわかる構成としました。子ども自身が主体的に考えて取り組み、力を発揮し、何かが身についたときに得られる充足感や達成感、つまり書くことの「楽しさ」が実感できる教科書ができたのではないかと思います。

学習指導要領改訂を受けて

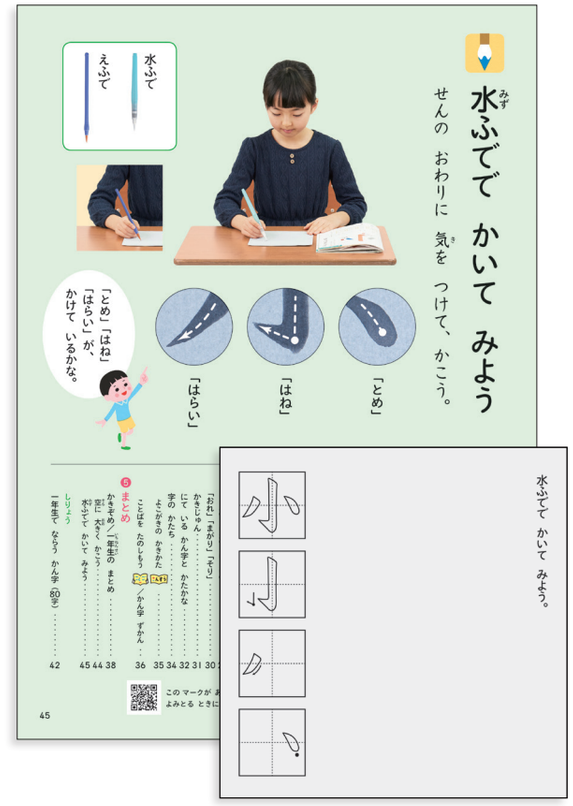
新学習指導要領では、書写の新たな学習指導内容として、低学年での「点画の書き方」が加えられました。知識と技能の両面から書写力を支える大切な要素と捉え、教科書でも多く取り扱いました（※1、p21※3）。

また、中学校新学習指導要領でいっそう重視されることになった「文字文化」への接続を考慮し、文字への興味・関心が高まるよう、漢字の成り立ちを楽しいイラストで解説する「漢字図鑑」を全学年に取り上げています（p21※4）。



▲※1　1年p28-29
漢字の終筆の筆使いを学習するページ。
キャラクターの動きや擬態語・擬声語で，
直感的に筆使いを理解することができます。

▲※４　１年p37（上），６年p31（下）
漢字の成り立ちを，楽しいイラストで解説する「漢字図鑑」。



▲※３　１年p45
水書用筆を使って，点画の終筆の筆使いを確かめる活動。
１年巻末には，繰り返し使える「水書シート」を用意しました。

▲※２　４年p8-9
情報が整理されたすっきりとした紙面で，何を学ぶかがひと目でわかるようになりました。

2 学ぶことがひと目でわかる

限られた授業時間の中では、学習を効率よく進めていくことが求められます。子どもにとっても、「あれもこれも」と、一度に多くのことを学習するのは難しいでしょう。ですから、発達の段階に応じ、学習要素を焦点化する必要があります。

新しい教科書では、すべての教材について、最も大切なことは何なのかを見直して厳選し、その示し方を工夫しました。

例えば、四年の「部分の組み立て方（左右）」（※2）では、まず、「木」が偏になるとき、どう変化するかという原理・原則を示して学習します。そして、同様に「ひへん」や「つちへん」も併せて学習できるようにしました。先生ご自身でアレンジして使えるようにも工夫しています。

また、三年以上の毛筆教材はすべて、**1 考えよう**（原理・原則を理解する）**2 確かめよう**（毛筆で確かめ、技能を習得する）**3 生かそう**（硬筆で技能を定着させる）という流れの紙面構成になっているため、先生にも子どもたちにも何を学ぶかがわかり、学習効果の高まりが期待できます。

3 体感的・直感的に理解できる

書写は、技能の学習です。頭ではわかっていても、それを思いどおりに形として表すことができなければ、目標が達成したとはいえません。そのための技能が必要なのです。技能を高めるためには、実践が求められます。ですから、書写の学習において、自分で体を動かして文字の形を理解し、覚えることは非常に重要な意味をもちます。新しい教科書では、それを促す工夫を豊富に用意しました。

例えば、低学年では、新学習指導要領に新設された「点画の書き方」に対して、水書用筆による教材「水ふでで書いてみよう」を盛り込み、体感しながら理解を深める学習活動を設けました（※3）。子どもたちは、「止め」「はね」「払い」などといった筆使いを体感的に捉えることができるようになっています。

他にも、なぞり書きや空書きなどの活動を取り入れ、主体的に、あるいは対話的に取り組むことによって、書くことの喜びや楽しさを味わいながら学習意欲を高めていきます。

4 書写の力が日常に広がる

▼国語教科書との連携

書写は、学習指導要領においては、国語科の中に位置づけられているので、国語との連携は特に大切にしたいところです。新しい教科書には、光村図書『国語』教科書と連携させて使うことができる教材が各学年に用意されています（※5）。書写は、言語に対する感覚を養う学習の場であってほしいのです。

▼他教科（算数・生活・道徳等）や日常生活との関連

国語だけでなく、他教科や日常生活にいかせる力をつけることも大切です。教材として提示する語句や文章は、子どもたちの日常生活や他教科から幅広く取り上げています（※6）。

特に高学年では、手書き文字の例として、東日本大震災直後に発行された壁新聞を題材にするなど、学習したことを自分や社会と結び付けて深く理解し、日常にいかせるように配慮しました。

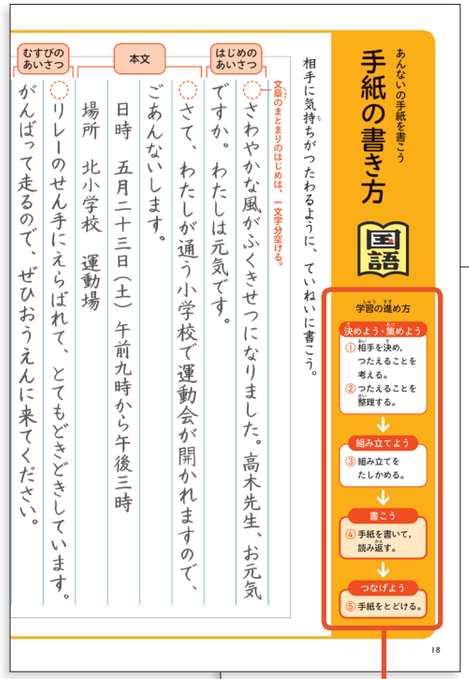
▼主体的・対話的な学びの実現のために

三年には「たしかめようシール」（※7）を用意しています。自分で気をつけて書いたところや次にもっと気をつけたいところに、半紙に直接シールを貼って確かめることができます。自己評価や相互評価に活用することで、主体的・対話的な学習が実現します。

▼学びが深まる動画コンテンツ

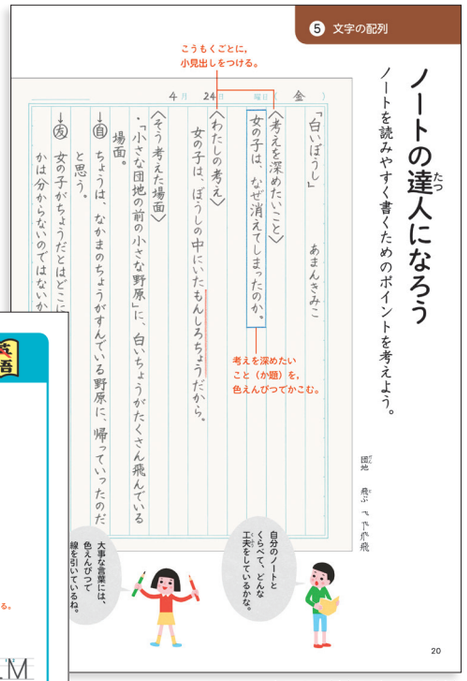
さらに、新版からの新しい試みですが、動画コンテンツがたいへん充実しました。教科書紙面に二次元コードがある教材（※8）では、スマートフォンやタブレットを使って、さまざまな動画を閲覧することができます。「筆使いを確かめよう」（※9）、「用具の準備・片付け」（※10）、「姿勢・筆記具の持ち方」、「アルファベットの書き方」など、これまでになかった方法によって、授業の幅を広げることが可能になりました。

「書写で学んだことが役に立った」と実感し、子どもたちには書くことを楽しんでほしいと思います。新しい教科書を使って、そんなふうに子どもたちの書く力を育んでいっていただけたら、こんなにうれしいことはありません。



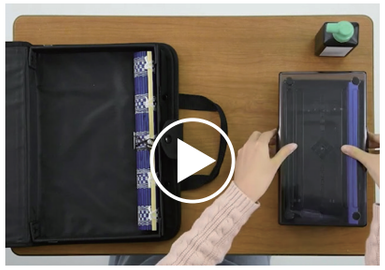
▲※５　３年p18
案内の手紙を書く教材。国語教科書と，学習内容・題材・学習時期を合わせています。

▲光村図書『国語』教科書３年上p60

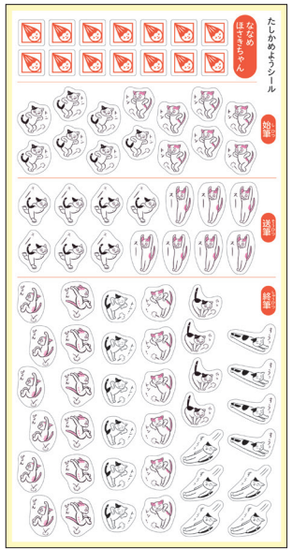


▲※６　４年p20（上），５年p38（左）
書写での学習を他教科や日常生活にいかせる教材を各学年に設けています。

▲※９　動画「筆使いを確かめよう」



▲※10　動画「用具の準備」「用具の片付け」



▲※７　３年「たしかめようシール」
半紙に直接貼れるので，自己評価や相互評価に活用することができます。

二次元コード　▼※８

デジタル教科書の新たな流れ

「マイ教科書」への挑戦
学習者用デジタル教科書

学校教育法等の一部改正により、平成三十一年四月から学習者用デジタル教科書が、紙の教科書と併用して授業で使えるようになりました。

学習者用デジタル教科書は、紙の教科書と同一の内容をデジタル化したもので、自由に拡大や書き込み等ができるようになります。加えて、特別な支援を要する子どもたちのために、機械音声による読み上げ機能や、すべての漢字にふりがなを表示する機能などを搭載しています。

主たる教材である教科書がデジタル化され、子どもたち自身が活用できることで、より高い学習効果が期待されます。

また、学習者用デジタル教科書と一体的に使える学習者用デジタル教材も新たに登場します。子どもたちの理解を助ける資料や学習を深めるコンテンツが豊富に収録されており、授業に参加したくなる工夫がいっぱいです。

普及率が五割を超えた
指導者用デジタル教科書

光村図書が、平成十七年から発売している指導者用デジタル教科書。電子黒板等の大型提示装置を使って教科書の紙面を拡大提示したり、関連資料や学習コンテンツを提示したりする、先生方のためのサポートツールです。国語科では光村図書が初めて開発し、現在四三〇〇校の小学校で導入されています。

クラス全員で一つの画面を見て学習ができることから、「児童の集中力が高まる」「興味関心が喚起される」など、高い評価をいただいています。

文部科学省の調査（平成二十九年度末）によると、全国の小学校での整備は年々進み、普及率は五十四・五パーセントで五割を超えています。この数値は、指導者用デジタル教科書が、その効果や使いやすさを認められ、教室に日常的にある教材になりつつあるといえるのではないでしょうか。

豊かな学びを実現する「まなビューア」

光村図書は、これまでのデジタル教科書・教材開発のノウハウを生かし、教科書紙面やその他のデジタル教材を表示・使用するための「まなビューア」を開発しました。

「まなビューア」の特長

❶快適な操作性
学びの道具としてスムーズな動作速度を実現

❷学びやすく、指導しやすい
学習者用と指導者用の操作性を統一

❸特別支援のためのサポート機能を充実
誰もが教科書の内容を捉えやすくなる機能を搭載

❹多様な学校環境への対応
パソコンやサーバーへのインストールが可能

まなビューア

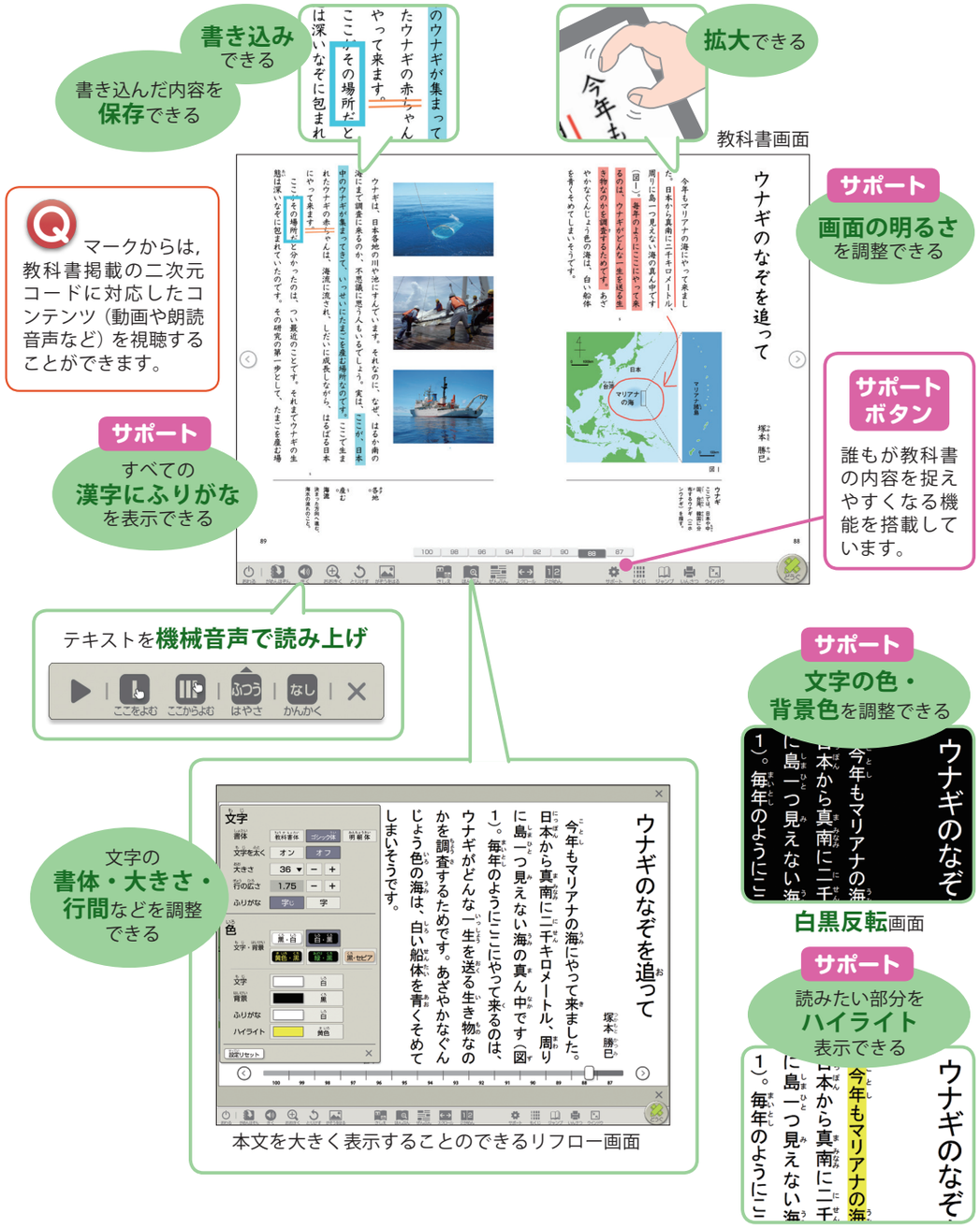
使ってみよう

学習者用デジタル教科書

For Children

デジタル教科書

紙の教科書をデジタル化し，書き込みツールや特別支援向けの機能を搭載しました。

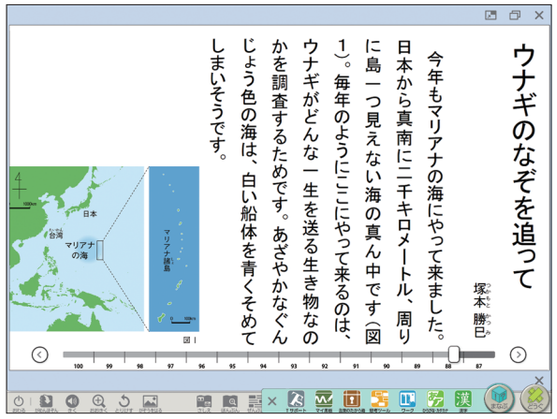


授業準備に使える新機能搭載

指導者用デジタル教科書 For Teachers

デジタル教材

教科書画面，本文，挿絵，漢字，ワークといった授業で使えるコンテンツを
さらにパワーアップ。授業準備を助ける便利な機能「**Tサポート**」も新登場。



ほんぶん画面

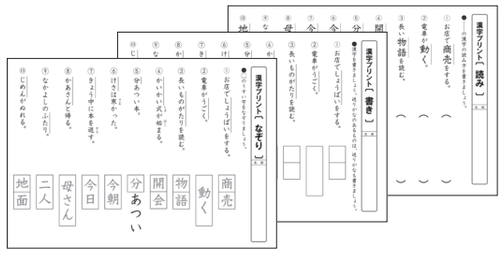
教科書本文の拡大画面を収録。教室環境に応じて文字の大きさや行間を調整し，すべての児童が教室のどの位置からでもしっかり読めるようにすることができます。

Tサポート❶ かんたん挿絵プリンター

教材中の挿絵や写真を簡単にプリントできる機能を搭載。黒板に貼ったり，児童のノート作りに活用したり，さまざまな使い方が可能です。

Tサポート❷ かんたん漢字プリントメーカー

新出漢字の確認プリントを作成することができます。児童の実態に合わせて問題数や出題漢字の変更など，問題の編集が簡単にできます。



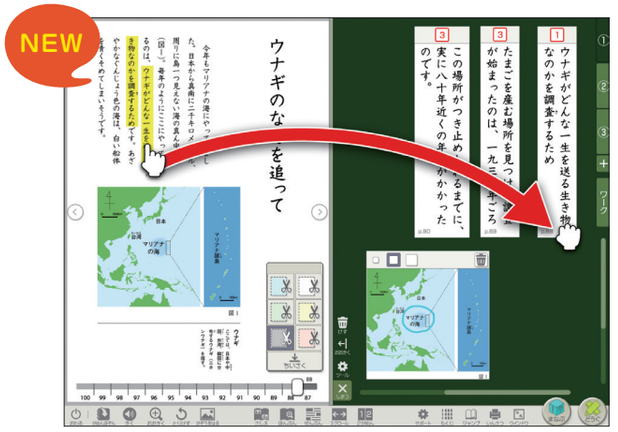
▶読み，書き，なぞり書きの３種類のプリントが印刷できます。

学びの幅を広げる！

学習者用デジタル教材 For Children

デジタル教科書 ＋ デジタル教材

学習者用デジタル教科書と一体的に活用する教材です。
子どもたちの理解を助ける資料や学習を深めるコンテンツを豊富に収録しています。
子どもたちが授業に参加したくなる工夫がいっぱいです。

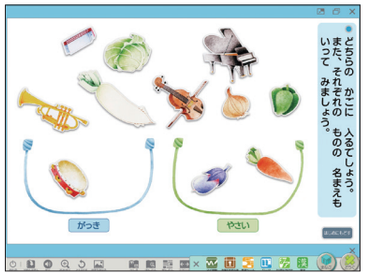


マイ黒板

教科書紙面から，直接本文や挿絵・写真を簡単に抜き出して，自分の考えをまとめることができる画期的な機能です。整理した画面をもとに友達と話し合うことで，気づきが広がります。

漢字フラッシュカード

漢字の読みを確かめるフラッシュカードです。さまざまな用例の中から問題を選んだり，自分の理解度に応じて繰り返し取り組んだりすることができます。



動かすワーク

教材に即したさまざまなワークを収録。カードを動かしながら考えることで，国語の力を楽しく身につけることができます。

インタビュー動画・資料動画

教材文の作者・筆者と出会えるインタビュー動画や，本文の理解を助ける資料動画を視聴することができます。教材文への関心を高め，教科書内容の理解を助けます。

令和２年度版 小学校「国語」教科書のご紹介ウェブサイト

新しい教科書の構成や特色，新教材のラインナップなどについて，紙面とともにご紹介。教科書の使い方がわかる「完全活用ガイド」や，「年間指導計画･評価計画資料」などのサポート資料も豊富に取り揃えています。

こちらから
すぐにご覧
いただけます。

光村図書ウェブサイト　www.mitsumura-tosho.co.jp

国語　平成31(令和元)年度用教科書　訂正箇所のお知らせ

平成31(令和元)年度用教科書では，平成30年度用教科書から以下の箇所を訂正いたします。校内の先生方でご確認のうえ，ご指導の際には十分ご留意くださいますようお願い申しあげます。

学年	ページ	行など	平成30年度	平成31(令和元)年度
5年	45	筆者紹介	一九二五年、東京都生まれ。数学者。特に、世界のあや取り文化について研究している。	一九二五～二〇一七年。東京都生まれ。数学者。特に、世界のあや取り文化について研究していた。
	238	4段目右	杉原（すぎはら）　幸子（さちこ）	杉原（すぎはら）　幸子（ゆきこ）
6年	142	筆者紹介	一九三五年生まれ。	一九三五～二〇一八年。

光村図書のデジタル教科書＆教材

2020年 春 発売

商品ラインナップ

学習者用デジタル教科書 二次元コード対応コンテンツ付
学習者用デジタル教科書 国語　1～6年
学習者用デジタル教科書 書写　1～6年
学習者用デジタル教科書 道徳　1～6年
学習者用デジタル教科書 英語　5･6年

学習者用デジタル教科書＋デジタル教材
学習者用デジタル教科書＋デジタル教材 国語　1～6年
学習者用デジタル教科書＋デジタル教材 英語　5･6年
※二次元コード対応コンテンツも収録されています。

指導者用デジタル教科書(教材)
指導者用デジタル教科書(教材) 国語　1～6年
指導者用デジタル教科書(教材) 英語　5･6年

小学校英語デジタル教材 マスターシリーズ ※学校フリーライセンス
アルファベットマスター 発売中　25,000円＋税(DVD版)／8,000円＋税(DVD版・1年間利用)
リズムマスター 発売中　25,000円＋税(DVD版)／8,000円＋税(DVD版・1年間利用)
ワードマスター(2020年3月発売予定)　25,000円＋税(DVD版)／8,000円＋税(DVD版・1年間利用)
※学校フリーライセンスとは，校内でご使用になる指導者用・学習者用パソコンの台数を制限しない契約です。
※価格には，パソコンなどへのインストール費用は含まれておりません。

価格や動作環境など，商品の詳しい内容については，光村図書ウェブサイトをご覧ください。
www.mitsumura-tosho.co.jp

きれいに書くには コツがある

好評発売中

●新学習指導要領の学年別配当に対応

- 常用漢字（2136字）すべて筆順付
- 新たに音訓索引を設け、漢字の検索が容易に
- 書写教科書と同じ書き文字で掲載
- 日常に役立つ、毛筆楷書、硬筆楷書、硬筆行書の3種を提示
- 字形のポイント、許容についての図示
- 堅牢で汚れにくく、開きやすい塩ビ製の表紙

光村図書出版株式会社

●ご注文は、お近くの書店、または弊社ウェブサイトで。
www.mitsumura-tosho.co.jp

新・字形と筆順 改訂版

宮澤正明 編

四六判／352P
定価 1,800 円＋税
ISBN978-4-8138-0044-6

光村図書

小学校　国語教育相談室　通巻 No.189　2019年4月26日発行
発行人＝小泉 茂　発行所＝光村図書出版株式会社　東京都品川区上大崎 2-19-9　〒141-8675　電話 03-3493-2111
www.mitsumura-tosho.co.jp　E-mail:koho@mitsumura-tosho.co.jp　印刷所＝協和オフセット印刷株式会社　デザイン＝ mg-okada

個人情報の取り扱いに関しては，弊社「個人情報保護方針」にのっとり，適切な管理・保護に努めてまいります。
詳しくは，光村図書ウェブサイトをご覧ください。広報誌の配送停止をご希望の方は，光村図書出版までご連絡ください。